

本日の例会（第2287回）  
平成29年4月25日(火)  
予 定 行 事



## ★卓 話 テーマ「大脳生理学と心理学」

卓話者：芦谷 裕一 会員

略 歴：入会年月日：2007年9月4日 生年月日：1958年9月16日

職 業：ソニー生命保険㈱ ライフプランナー

職 業 分 類：生命保険

ロータリーでの活動歴

2007年度 親睦活動委員 2008年度 社会奉仕副委員長

2009～'11年度 S A A 2011～'13年度 国際奉仕委員長

2013年度 第45代 幹事 2014年度 親睦活動副委員長

2015年度 親睦活動委員長 2016年度 会報広報副委員長

趣 味：テニス、スキー、ドライブ、読書、パソコン、映画鑑賞

★創立50周年記念事業委員会② 13：45～ 事務局（実行委員会メンバー）

## 春の日帰り親睦家族旅行

親睦活動委員長 高土 誠司

4月11日例会終了後、生憎の雨の中、春の日帰り親睦家族旅行に行っていました。  
今回のテーマは『洛西めぐりと旬のたけのこ料理』です。ご婦人2名の参加を得て総勢15名で、例会終了後13時50分貸切バスにてヒルトンホテルを出発致しました。

バスのエンジンがかかる前から一部の参加者のエンジンがかかってしまい、ヒルトンの敷地内で既に「乾杯」が終わってしまいました・・・

15時頃にまず、善峰寺（よしみねでら）に到着致しました。今日の目的は京の町を眼下に一望できる三鈷寺（さんこじ）からの景観でしたが、善峰寺と三鈷寺は平安時代に両方とも源算上人という人が開いたお寺であり、特に善峰寺は西国三十三所第二十番札所として洛西では人気のお寺です。

沿革によると後一条天皇が寺号を下賜されたとのこと、本日の卓話の芦田先生の知識が早速生かされました。ということは藤原道長が権勢を誇った時代なんですね。

江戸時代に徳川綱吉の生母桂昌院が整備した堂塔伽藍も素晴らしいのですが、やはり雨天とは言え、しだれ桜、山桜は今が見ごろでした。

(裏面につづく)

次回例会のお知らせ [第2288回・平成29年5月9日(火)]

★お誕生日のお祝い

★お食事は松花堂弁当です。

★卓話予定

★例会場 4F 真珠の間

・テーマ：「天の邪鬼経営」

・卓話者：十河 元生 会員

★定例理事会⑩ 13：40～ 事務局（理事会構成メンバー）

★5月2日(火)の例会は休会です。

前回例会（第2286回・4月18日（火））の報告

- ・ 来客紹介 6名  
(2660地区内 3名・地区外 0名・ゲスト 3名)
- ・ 出席報告

	3月28日	4月4日	4月11日	4月18日
会員総数	45名	45名	45名	45名
出席免除会員数	15名	15名	15名	15名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	17名 (6名)	13名 (4名)	14名 (3名)	12名 (3名)
出席率	71.79%	78.05%	73.81%	78.57%
修正出席率 (メーキャップ数)	87.18% (6名)	85.37% (3名)	_____	_____

- ・ ラッキーくじ  
賞品名 『加賀麩 不室屋の「宝の麩」』  
賞品提供者 葛井 啓三 会員  
当選者 田中 潤治 会員  
          小山 登 会員  
参加者数 14名
- ・ 卓話  
テーマ「健康うたの体操」  
卓話者：辰巳 知子 氏（高林 辰行 会員 紹介）
- ・ その他  
次年度委員長会議 13：40～ 10F 飛鳥の間

- | 会員名   | ニコニコ事由  |
|-------|---|
| 阿江 秀典 | = 9カ年皆出席  |
| 上田 宏二 | = ラッキーカード当選   |
| 弓田 浩司 | = ラッキーカード当選   |
| 河合 秀行 | = 春の家族旅行「洛西の旅」、親睦委員の皆様、大変お世話になりました。   |
| 高士 誠司 | = 先週は、日帰り親睦旅行ご参加の皆様、ありがとうございました。  |
| 富島 俊治 | = 久しぶりに高林こうこ様にお会いして。  |
| 古市 仁  | = 2017年4月17日、無事創業90周年を迎えました。  |
| 柴崎 秀樹 | = 岡山県の津山マラソンを走ってきました。坂道の続く激しいコースとあまりの暑さで、くたくたになりましたが、地元の方々も大いに楽しんでおられ、こちらも自然と笑顔になる、いい大会でした。 |
| 竹井三千彦 | = 失言が続いていますが・・・そこで一句『ガンに成ったら自己責任ポジショントークしたけれど 辞任せよとは ご無体な』さて、この四人は誰でしょう。                    |
| 小山 登  | = 5月10日のクラブコンペに参加したいと、西ノ内幹事にダダをこね。  |
| 妙中 茂樹 | = S A Aに声をかけられて。  |
| 三宅 有  | = S A Aに声をかけられて。  |
| 高林 辰行 | = 卓話当番  |
| 〃     | = お久しぶりです。  |

(表面のつづき)

そんな善峰寺の北門を出ると雰囲気が変わって山寺のたたずまいの三鈷寺の山門に行き着きます。まず境内でご住職からお寺の由緒をお聞きしました。このお寺は江戸時代に書かれた「都名所図会」に「二大仏七城俯瞰の地」と記されたそうです。二大仏とは奈良東大寺の大仏と豊臣家ゆかりの方広寺（大阪の陣の発端となった方広寺事件の・・・）の大仏だそうです。七城とは二条城、伏見城、大阪城・・・亀山城（三重県）だそうです。そこまで見えた！ということなのですが、ご住職によると「ちょっと大げさ」しかし当時の地形からしてウソとも言えないそうです。お寺のご本尊などもご住職の説明のもと拝見させていただきました。昨年住職を継いだという当代ご住職はなんと55世だそうです。

その後、お寺の一番見晴らしの良い場所で休憩、談笑させていただきました。本来なら「眺望に釘付け」となるのですが、そこは生憎の雨、「霧に煙る京の町」を楽しみました。ご住職の「今度は天気の良い日に来てください・・・」の聲に送られて三鈷寺を後にしました。

(次回につづく)



善峰寺



善峰寺 枝垂桜